



農作業メモ



水 稻
田代 好幸
農畜産課
0969-22-1105

中干し後の水管理

中干し終了後(平年5月末日)から穂ばらみ期前までは、間断灌水で管理し、水と空気を根に補給し根の活力を上げ登熟向上に努めてください。

穂ばらみ期から出穂期にかけては稲の体力消耗が激しくなりますので、深水管理を行いましょ。

穂肥施用

6月上旬より幼穂の観察を行い、穂肥の施用時期を見つめましょ。畦から1メートル以上水田に入り標本を採ります。標本は株の最長葉の茎を一枚のほ場から3株以上取ります。茎は一枚ずつはいで、幼穂の長さを測ります。長さが1.0~1.5ミリの頃に穂肥を施用します。

穂肥の目安(出穂前25日前後-----幼穂長1.0~1.5ミリ)

稲の葉色を見て適正な量を施用してください。

| 葉 色 | 4未満 | 4以上4.5未満 | 4.5以上 |
|---------|------|----------|-------|
| 有機苦土047 | 15kg | 10kg | 施用しない |

葉色の判定は、葉色板(カラースケール)を使用してください。太陽を背にして稲の葉色を見ましょ。

病虫害防除

特別栽培においては防除回数に限られていますので、健全な稲作りと畦畔の草刈り等や、ほ場の見回りの徹底による

耕種的防除と組み合わせた適期防除に努めてください。(病虫害情報は、各支所経済課へ問い合わせして下さい。)

尚、昨年は5月中旬頃から、葉いもち・紋枯病の発生が始まっていますので、5月上旬にオリブライト1kg粒剤または豆つぶの予防剤の散布を実施して下さい。(中干し前に散布し、7日間は落水しないで下さい。)

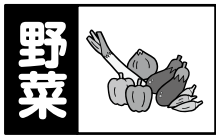
防除の際は、使用基準を遵守し飛散等のないよう心がけるとともに、栽培管理台帳への記入もお願いします。

農作業に伴う道路の泥汚れ防止について

トラクター等の農作業の際は、田・畑から公道に出る前には必ず機械に付いている泥を落としてから走行するようにお願いします。

道路に落ちた泥は、通行の妨げになる恐れがあります。また、みだりに道路を汚損することは法律で禁止されており、違反した場合は一年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられます。(道路法第43条第1項、道路法第102条3項)

道路に泥などで汚した場合は、速やかに清掃するなどの対応を行い、道路はいつもきれいに保ちましょ。



春インゲン今後の管理



野 菜
宮内 勝幸
上島管農指導センター
080-2751-6373

これからの時期は、ハウス内温度、湿度共に高くなってきます。このため、灰色カビや、品温の上昇による蒸れ等発生しやすくなりますので、防除や収穫後の管理、換気等は注意をお願いします。

温度管理

15~25℃で日中30℃以上にならないように注意してください。

灌水・追肥

極端な乾燥は、収量・品質に影響するので、着莢後は少量多回数の灌水を行いスムーズに太らせましょ。草勢を見ながら行い、後半は液肥で行います。

- 例) 穴肥 アサヒエース
- 液肥 トミー液肥ブラック等(500倍)
- 葉面散布 メリット青(500倍)

摘葉

摘葉は収穫を行いながら行い、老化葉・病葉・込み合う葉を摘葉し通風、採光を良くし、病虫害の発生を抑制しましょ。一度に沢山摘葉をすると樹勢の低下につながるため注意が必要です。

病虫害防除

ヨトウムシ類、マメハモグリバエ、アザミウマ等

| 農薬名 | 使用倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 対象病害 |
|----------|--------------|------|------|----------------|
| アフーム乳剤 | 2,000倍 | 収穫前日 | 2回 | ハモグリバエ類 |
| プレオフロアブル | 1,000倍 | 収穫前日 | 2回 | オオタバコガ、ハモグリバエ類 |
| カスケード乳剤 | 2,000倍 | 収穫前日 | 2回 | マメハモグリバエ |
| パダンSG水溶剤 | 1,500倍 | 収穫前日 | 3回 | マメハモグリバエ |
| ディアナSC | 2,500~5,000倍 | 収穫前日 | 2回 | アザミウマ類 |

灰色カビ病

| 農薬名 | 使用倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 対象病害 |
|---------------|--------------|------|------|----------|
| セイビアーフフロアブル20 | 1,000~1,500倍 | 収穫前日 | 3回 | 灰色カビ、菌核病 |
| アミスター20フロアブル | 2,000倍 | 収穫前日 | 3回 | 灰色カビ、菌核病 |



5月・6月の柑橘園管理

果樹
原口 悠貴
 下島営農指導センター
 080-2725-7775

1. 病害虫防除

| 品 種 | 対象病害虫 | 属性 | 農薬名 | 希釈倍数 | 水100ℓ当たりの使用量 | 散布時期 |
|-----|---------------------|-----|-------------------|---------|--------------|-----------------------|
| 全品種 | ケシキスイ類 コアオハナムグリ | 劇 物 | モスピランSL液剤 | 4,000 倍 | 25mℓ | 開花期 |
| 全品種 | 灰色カビ病 そうか病 | 普通物 | ファンタジスタ顆粒水和剤 | 4,000 倍 | 25g | 開花期 |
| 中晩柑 | ホコリダニ | 劇 物 | アグリメック | 2,000 倍 | 50mℓ | 5月中旬～下旬 (開花盛期～落弁期) |
| 全品種 | 黒点病 | 普通物 | ナティーボフロアブル | 1,500 倍 | 66g | |
| 全品種 | カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ | 普通物 | トランスフォームフロアブル (普) | 2,000 倍 | 50mℓ | 6月上旬～下旬 |
| | 黒点病 | 普通物 | 混用 ジマンダイセン水和剤 | 600 倍 | 166g | |
| | 展着剤 | 普通物 | 加用 アビオンE | 1,000 倍 | 100mℓ | |
| 温 州 | ミカンハダニ | 普通物 | ハーベストオイル | 150 倍 | 666mℓ | 6月中旬～下旬 |
| | ミカンサビダニ | 劇 物 | 混用 ハチハチフロアブル | 2,000 倍 | 50g | |
| 中晩柑 | ミカンハダニ | 普通物 | ハーベストオイル | 150 倍 | 666mℓ | 6月中旬 |
| 中晩柑 | 黒点病 | 普通物 | ジマンダイセン水和剤 | 600 倍 | 166g | 6月下旬 |
| | ミカンサビダニ | 劇 物 | 混用 ハチハチフロアブル | 2,000 倍 | 50g | |

※ケシキスイ類、コアオハナムグリには、エクシレルSE「普通物」5,000倍も使用可。(開花期)
 ※灰色カビ、そうか病はフルーツセイバー 1,500倍「普通物」も使用可。(開花期)
 ※カイガラムシが多い園では、再度エルサン乳剤「劇物」1,000倍を散布。(6月中旬～下旬)

2. 施 肥

○通常タイプ

| 対象品種 | 肥料名 | 施肥時期 | 10 a当たり |
|--------------------|---------------|------|---------|
| 早生・中熟・普通温州 | 果樹専用 スペシャル | 6月上旬 | 2袋 |
| 河内晩柑・清見 甘夏・パール柑 | | | 5袋 |
| ポンカン | | | 3袋 |
| デコポン | | | 4袋 |

3. 葉面散布

まずは樹勢を回復し、その後花芽分化促進を行きましょう。

| 目的 | 薬 剤 名 | 希釈倍数 | 備 考 |
|------|----------------------------------|--------|-----------------------------|
| 樹勢維持 | 尿素又はアミノ ジューシーN14 又は神協スピリッツ | 500倍 | 収穫後：3回程度集中散布 及び 発芽～新梢伸長期 |
| 緑化促進 | 葉面マグ | 200倍 | 緑化が遅れそうな場合 |
| 新梢充実 | ジューシーカル | 1,000倍 | デコポン等 |

4. 着果対策(かんきつ)

ジベレリンの散布・・・ジベレリンを散布する事により、着果性が向上します。主に赤道部を中心に散布しましょう。
 尿素を500倍加用する事により効果が上がります。

○使用時期・・・開花～満開10日後(開花後処理時期が早いほど効果が高い)

| 希釈表 (開花期) 25ppm | ジベレリン液剤 | 40ml の場合 | 水8ℓに1本 | 尿素 500倍 (16g) | 使用液量 10 a当たり 50～100ℓ |
|--------------------|---------|-----------|---------|---------------|-------------------------|
| | ジベレリン液剤 | 100ml の場合 | 水20ℓに1本 | 尿素 500倍 (40g) | |

農業電子図書館設置 簡単操作で営農情報からお料理レシピまで

3月にJA あまくさでは、非対面型情報提供ツール、農業電子図書館端末を導入しました。

管内購買店舗等9か所に設置しており、組合員への営農情報の円滑な提供を支援することと、的確で迅速な業務遂行の向上に役立てることが目的です。

来店した組合員からは「病害虫の写真も大きく表示でき、対処する農薬も簡単に調べることができて、大変便利だ。今後は大いに活用したい」と話されました。

モニター画面は21.5インチと大きいもので、スマートフォンと同じように操作でき、組合員からもわかりやすいと好評を得ています。



職員と一緒に稲の病害虫について調べる新和町の横山浩さん。(右)